

# カンタン操作ガイド



枕を外して、椅子にお座りください。

## 自動コース

1 を押します。(脚部が自動的に上がります。)

2 背部と脚部をお好みの位置へリクライニングさせてください。

背部：リクライニングの で倒れ、 で起き上がります。  
脚部：脚部の で下がり、 で上がります。

3

からお好みの自動コースを選択し、いずれかを押します。

選択した自動コースのボタンをさらに押して、お好みのコースを選択します。

4 を押します。

・体形検出(3Dポイントナビ)が始まります。


5 で肩位置を調節し、 を押すと、マッサージを開始します。


※ を押すまで、マッサージは開始しません。


自動コース				
全身	首・肩	腰	ストレッチ	ソフト
極 疲労回復 疲労回復 リフレッシュ やすらぎ 短縮	極 疲労回復 疲労回復 リフレッシュ やすらぎ	極 疲労回復 疲労回復 リフレッシュ やすらぎ	極 全身ストレッチ 全身ストレッチ 全身エア-	-

# 自動コース動作中の調節

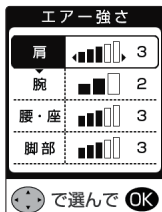
## エアによるマッサージの強さを調節

を押すと、「エア強さ」変更画面が表示され、自動コースで設定されているエアマッサージの「OFF/ON」および、エア強さを各部位ごとに変更できます。


で変更したい部位を選択し、


でマッサージ強さを調節し、



を押します。



## エアオプションの入/切


を押すと、「エアオプション」画面が表示されます。




で変更したい機能を選択し、

で「OFF/ON」を選択し、を押します。






## メカ(もみ玉)によるマッサージの強さを調節

を押すと、「コースメカ強さ」調節画面が表示されます。




で弱く、で強く調節できます。マッサージ強さを調節し、を押します。



## 肩位置・もみ玉位置を調節

メカ(もみ玉)が肩・背付近にあるとき、メカ位置の   を押して調節し、 を押します。

## 腰極もみ・腰極たたき位置を調節

メカ(もみ玉が)腰付近にあるとき、メカ位置の   を押して調節し、 を押します。

ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全上のご注意

### 警告

- (1) 次の人は使用しない。(身体に異常が起こる場合があります)
  - 医師からマッサージを禁じられている人。  
(例:血栓[そく(塞)栓]症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む)など)
- (2) 次の人は、使用前に医師に相談してください。
  - ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
  - 悪性しゅよう(腫瘍)のある人 ● 心臓に障害のある人 ● 妊娠中、または出産直後の人
  - 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 ● 皮膚に創傷のある人 ● 安静を必要とする人
  - 体温38℃以上(有熱期)の人  
(例:急性炎症症状[けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期、衰弱しているとき)
  - 骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)の骨折、急性[とう(疼)痛性]疾患の人
  - 背骨(脊椎)に異常のある人、または背骨が左右に曲がっている人 ● 捻挫、肉離れなど炎症性の人
  - 椎間板ヘルニア症の人
  - その他、身体に特に異常を感じているときや、医療機関で治療中の人
- (3) リクライニングするときや脚部を上下、伸縮するときは、うしろや脚部の前、下などに人やベット、物がないことを確認する。
- (4) 脚部を下げるときは、脚部の下に足や手を挟まないようにする。また、脚部の下に人やベット、物がないことを確認する。
- (5) ご使用前には、背パッドを上げて背もたれ部のカバーが破れていないか確認し、その他の部分にも破れないか確認する。(小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。)
- (6) 首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意する。また、首の前方や過度に強いマッサージはしない。
- (7) お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- (8) お子様が椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- (9) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。
- (10) 動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いて、ご購入先に点検・修理を依頼する。